

北九州市SDGs 修学旅行コンテンツ

一般社団法人 海峡都市関門DMOは、関門海峡を中心とした 北九州市と下関市における地域連携による観光振興の組織です。

福岡県北九州市と山口県下関市に挟まれた関門海峡エリアは、本州最西端と九州北端の間の狭い海峡を中心とした観光地です。本州と九州を繋ぐまちでもあり、昔から多くの人々が行き交いさまざまな物語が生まれてきました。

一般社団法人関門DMOは、県の境を越え、ひとつの“海のまち”として、国内外の観光客のみなさまを迎え入れるため、北九州市・下関市の行政と関門観光企画営業担当者会議を母体とした民間企業・団体によって設立された観光法人です。関門海峡の歴史と豊かな地域資源を最大限に生かし、地域内外の関係者と連携した事業を展開しながら、人と文化が行き交う海峡都市の実現を目指します。

北九州市エコタウンセンター



環境未来都市としての取り組み

紹介

北九州市エコタウンセンターは、全国のエコタウンの中で最も早くスタートして、最も充実している「北九州エコタウン」の中核施設です。

エコタウン事業を生きた教材として活用する 環境学習拠点として、また、エコタウン事業を総合的に支援する中核的施設として、2001年6月に開設。ここでは、エコタウン事業の取り組みや市内の環境関連企業をパネルや展示品などで紹介しています。また、リサイクル工場の見学コースを用意し、見学者を各工場に案内しています。

私たちが「ごみ」として出したものが、リサイクル工場で「資源」に生まれかわる様子や大規模な「自然エネルギー施設」を実際に見学することで「ごみを減らす意識」や「エネルギーの大切さ」など、きっと新たな発見ができます。

旅マエ～事前学習

- なぜ、エコタウンセンターができたのか？
- エコタウンセンターには、どんなリサイクル工場がある？



旅ナカ～現地にて

- ◇エコタウン事業の取り組みをパネルや映像で紹介
- ◇リサイクル工場の見学



旅アト～事後学習

- 身近なリサイクルについて考えましょう！



次世代エネルギーパーク



未来のエネルギーを学ぼう

紹介

北九州市若松区響灘エリアに立地しているエネルギー関連施設（太陽光発電、風力発電、暮らしを支えるエネルギー供給施設）など、暮らしを支えるエネルギー供給基地の姿や次世代を担う自然エネルギー・バイオマスエネルギーの姿のほか、企業間連携や革新技術の研究など、様々なエネルギーの取り組みがご覧いただけます。の見学ができます。環境未来都市北九州市でエネルギー技術と私たちが目指す低炭素社会を楽しく学ぶことができます。

様々なエネルギーの特徴のほか、私たちが抱えているエネルギーの問題や解決への取り組みについて学べます。

旅マエ～事前学習

- ▶ 日本における電力供給の割合は？
- ▶ 身近な発電所は？



旅ナカ～現地にて

◇施設概要説明と施設見学（石炭・太陽光・風力・石油・天然ガス・バイオマス）

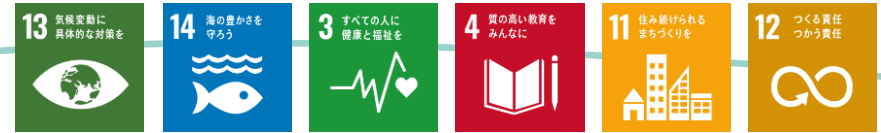


旅アト～事後学習

- ▶ 未来のエネルギーについて考えましょう！



北九州市環境ミュージアム



SDGs未来都市“北九州市”を学ぶ

紹介

環境問題は、全地球的な課題であり、国としても精力的な取り組みが求められています。その中で、まずは一人ひとりが環境問題に関心を持ち、便利になっていく日々の生活の中で「環境にやさしい持続的な社会」を実現するために、気づかなくてはならないことがたくさんあります。そこで、環境ミュージアムでは、私たちの生活に密着した環境問題に関する展示なども多数あり、専門ガイドが付き、北九州市の公害克服の歴史や、地球環境問題など総合的に環境を学んで頂きます。



資源とごみの行方



自然素材のリサイクル

旅マエ～事前学習

- 北九州市はどのように発展したのか？
- 北九州市における公害克服の歴史



旅ナカ～現地にて

- ◆①北九州の変遷→②公害克服の歴史→③地球環境と私たち→④環境技術とエコライフ（ガイド付き）



旅アト～事後学習

- 身近な環境問題を取り上げ、解決するにはどうすればいいか考えましょう。



フードバンク北九州ライフアゲイン



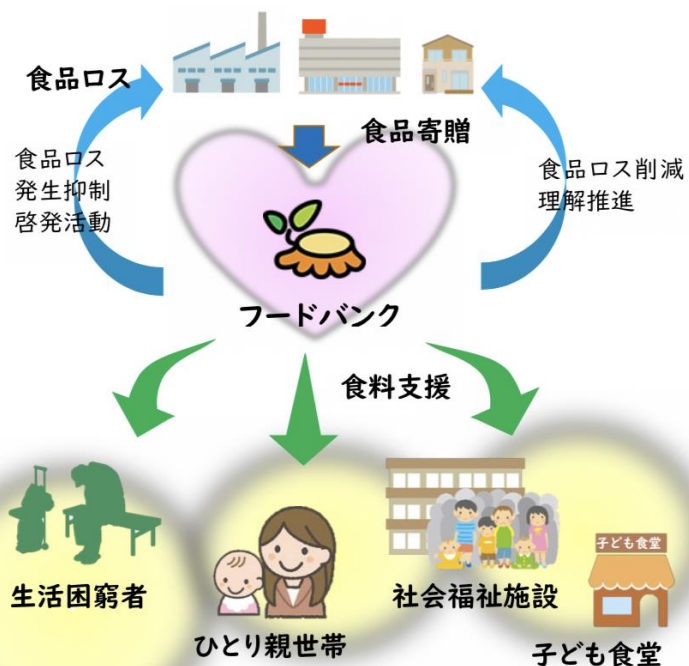
“もったいない”を“ありがとう”へ！

紹介

日本では、品質や安全性に問題がないにもかかわらず処分されている「食品ロス」が年間500～800万トンもあります。賞味期限内の食品であっても、印字ミスや箱が壊れたり、あるいは規格外として販売できないためです。

私達はフードバンク事業として、企業や農家・個人などに寄贈いただき、それを生活困窮者（ひとり親家庭、介護家庭、失業者、外国人労働者、路上生活者等）、児童養護施設、障害者施設、老人介護施設、里親家庭、ファミリーホームなどに無償で提供する活動を行っております。

フードバンクとは、この社会にあふれる「もったいない」を「ありがとう」に変える社会貢献活動です。



旅マエ～事前学習

- 食品ロスの現状は？
- フードバンク事業や子ども食堂について



旅ナカ～現地にて

◇食品の調達から支援までを座学とフィールドワークで。



旅アト～事後学習

- 身近で同様の活動は？
- 自ら関わるには？



魚町銀天街



目指せ“SDGs商店街”！

紹介

昭和26年には、日本で公道上に初めてアーケードを建設。平成には、日本で2番目に国道上にジョイントアーケード（エコルーフ）を建設して、リノベーションスクールを中核とするリノベーションまちづくりの発祥の地としても全国的に知られるようになりました。北九州市が平成30年4月に経済協力開発機構（OECD）よりアジア初の「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に認定されたことをきっかけに、SDGs商店街を目指すことにしました。

- ◆エコルーフで省エネ対策
- ◆規格外の野菜を販売する会社を誘致
- ◆空き店舗や空き家をリノベーション
- ◆SDGsに関する様々なテーマを語り合うバルの開催
- ◆「得するまちのゼミナール」で商店主が市民に様々な知識や技能を伝授、などを行っています。



旅マエ～事前学習

- 商店街で取り組めるSDGsの活動は？
- 商店街で取り組むために必要なことは？



旅ナカ～現地にて

◇商店街の取り組みを座学で、その後フィールドワークへ。



旅アト～事後学習

- 身近の商店街は？
- 自ら関わるには？

『第3回ジャパンSDGsアワード』最高賞・総理大臣賞受賞
『第1回SDGsクリエイティブアワード』最優秀賞
「ゴールドアワード」受賞



シャボン玉石鹸



健康な体ときれいな水を守る

紹介

明治43年若松で開業し、現在では全国有数の無添加石けんメーカーに成長しました。良質な天然油脂を原料に昔ながらのケン化法で約1週間かけて肌と環境にやさしいこだわりの石けんを作っています。主な取り組みは、以下の通りです。

- 人と環境にやさしい無添加石けんの製造・販売
- パーム農園の定期的な現地視察
- 環境にやさしい包材の採用
- 1% for Nature プロジェクト
- 香害・化学物質過敏症に対する啓発活動
- 環境・健康に関する啓発活動
- 生態系保全活動
- 石けん系泡消火剤の研究・開発
- 災害・衛生教育・子育て支援活動 など

旅マエ～事前学習

- シャボン玉石鹸の理念や環境方針？
- 石けんと合成洗剤の違いは？



旅ナカ～現地にて

◇会議室での説明⇒工場見学



旅アト～事後学習

- 毎日使っている石鹸の成分は？
- 洗面などの日常からできるSDGs活動は？



サンアクアTOTO



障がいがある人もない人もみんなが主役

紹介

「障がいの有無に関わらず、一人ひとりの能力と個性が活かせる会社でありたい」

サンアクアTOTO株式会社は、福岡県・北九州市・TOTOの共同出資による第三セクターの特例子会社として1993年（平成5年）に創立しました。働く意志と能力がありながら、就労の機会に恵まれない障がい者に、働きがいのある職場環境を提供することを設立趣旨とし、40名程の社員でスタート。2023年2月に設立30周年を迎え、今では共に働く仲間は146名、障がいのある社員は92名となりました。

TOTOグループの1社として「TOTO」ブランドの水栓金具や衛生陶器等の、主に内部部品の組み立てに携わっています。また、2020年3月には「JIS」を取得し、お客様に直接お届けする製品づくりにも取り組んでいます。



旅マエ～事前学習

- 障がい者とは？
- 障がい者の人口に占める割合と就労している割合は？



旅ナカ～現地にて

◇会社の概要説明⇒工場見学



旅アト～事後学習

- 身近に障がい者を受け入れている企業は？
- 障がい者と一緒にはできることは？



自分の高さにあった洗面台



休養室



カーブミラーで注意喚起

門司港レトロ

観光・食・お買い物、散策できる街～門司港レトロ

紹介

かつて、明治から昭和初期にかけ栄華を誇った街、門司。近代日本を支えた港町として歴史に名を刻んでいる。明治22年に石炭などを扱う国の特別輸出港に指定され、貿易港としての地位を確立した門司は、その後、日清戦争、日露戦争の勃発と共に、栄えていく。中国大陸が近いこともあり、軍需品や兵士たちを送り出す重要な港となり、米、兵器、軍服などの品物を扱う商業が目覚ましく発展していった。大正3年には門司駅新駅舎（現在の門司港駅）が完成。この年の8月に日本は第一次世界大戦に参戦。11月には中国の青島を攻略し、門司は大戦景気に湧きたった。その後、欧州航路の寄港地にもなり、港は莫大な利益を得ていくことになる。大陸貿易も盛んで満州などへの貿易船や客船で大変賑わった。

この頃には、日本三大港（神戸、横浜、門司）の一つとして数えられ、重要な国際貿易の拠点となっていた。大商社や銀行が先を争って門司に支店を出そうとし、地価が暴騰したのもこの時である。また、大陸貿易の発展とともにもう一つ賑わったものが、花街と料亭で、門司には数多くの料亭があり、清滝には10件以上もの料亭が林立していた。旅館も多数あり、中には高松宮殿下が定宿としていた宿もあったそうだ。今も、三宜楼などは当時の華やかな風情が想像できる。このように、終戦前までは非常に栄えていた門司だが、終戦とともに大陸貿易が縮小され石炭の輸出も減り、港として低迷し次第に衰退していくことになる。

その後、門司港は行政と民間の協力のもと、1995年に『門司港レトロ』として生まれ変わり、今では年間200万人以上の人を訪れる観光地として、新たな歴史を歩んでいる。

旅マエ～事前学習

- 門司港が発展した訳は？
- 門司港レトロの魅力は？



旅ナカ～現地にて

- ◇門司港レトロ内の歴史的建造物を散策しよう
- ◇近隣の栄町商店街などにも行ってみよう



旅アト～事後学習

- 観光客の動線を栄町商店街など近隣まで伸ばすには？
- 長い時間滞在させるには？



連絡先	門司港レトロ総合インフォメーション
住所	〒803-0814 北九州市門司区東港町6-72 港ハウス内
電話番号	093-321-4151
定休日	施設により異なる
その他	

門司港レトロ散策コース①

門司港を楽しむ
Model Course 1

門司港の発展を象徴する“日本遺産”を巡る旅

門司港レトロをくまなく歩きながら、日本遺産の構成文化財である歴史的建築物をじっくり堪能する好奇心旺盛なコースです。日本遺産は、地域の文化財や歴史的な出来事・伝承・風習などを一つのストーリーとしてまとめ、文化庁が認定したものです。関門地区は2017年に「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定されました。

所要時間
約6～7時間
(うち移動約1時間)

START!

門司港駅



10:00

徒歩 0分

バナナの叩き売り発祥の地の石碑



10:15

徒歩 0分

旧 JR 九州本社ビル



10:20

徒歩 1分

JP 門司港ビル



10:30

徒歩 1分

ホーム・リング商会



10:45

徒歩 1分

旧大阪商船



10:50

徒歩 2分

旧門司三井倶楽部



11:30

徒歩 15分

旧門司税関



13:15

徒歩 20分

旧大連航路上屋



14:15

GOAL!

三宜楼



16:10

徒歩 3分

九州鉄道記念館



15:05

徒歩 5分

北九州銀行門司支店



14:55

徒歩 10分



ほかにも、門司港には岩田家住宅、世界平和バゴダ、門司区役所などの日本遺産構成文化財があります。お時間に余裕のある方、体力に自信のある方は是非巡ってみてください。

門司港レトロ散策コース②

門司港を楽しむ Model Course 2

百年の名建築・名店と美味しく呑む 歴史街あるき旅

大正時代、九州初のビール工場を擁した門司から世界へ旅立ち、賞賛された地ビール「サクラビール」、労働者たちの心を癒した角打ち、各国のマドロスたちを華やかに迎えた花街や料亭、門司港の富と権力を物語る旧高級料亭「三宜楼」…。門司港が刻んだ街の歴史を「お酒」という側面から学ぶ、美味しくユニークな街歩きコースです。ノスタルジックな名建築や名店を眺めながら、目と舌で、その記憶を辿ります。

所要時間
約 7 時間
(うち移動約 1 時間)

START!

JR 門司駅



11:00

徒歩 3 分

北九州市門司麦酒煉瓦館



徒歩 3 分

JR 門司駅



電車 8 分

JR 門司港駅



徒歩 1 分

旧門司三井倶楽部



徒歩 6 分

三宜楼



徒歩 1 分

魚住酒店



徒歩 8 分

中央市場



徒歩 8 分

大連友好記念館



GOAL!

ゲストハウス「ポルト」



18:00

徒歩 12 分

ブルーウィングもじ



17:00

徒歩 5 分

観光物産館「港ハウス」



16:30

徒歩 1 分

ほかにも、栄町銀天街や周辺エリア飲食店、岩田家住宅(旧岩田酒店)などで、お酒と街の歴史に触れることができます。

門司港レトロ散策コース③

門司港を楽しむ
Model Course ③

所要時間
約5時間
(うち移動約1時間)

START!

門司港駅



11:00

徒歩 3分

旧門司三井倶楽部



11:10

徒歩 6分

関門海峡ミュージアム



12:00

徒歩 5分

門司港駅周辺



13:30

徒歩 2分

九州鉄道記念館駅



14:40

列車 10分

関門海峡めかり駅



14:50

徒歩 6分

関門トンネル人道



15:10

徒歩 15分

壇ノ浦



15:30

バス 4分
(徒歩 20分)

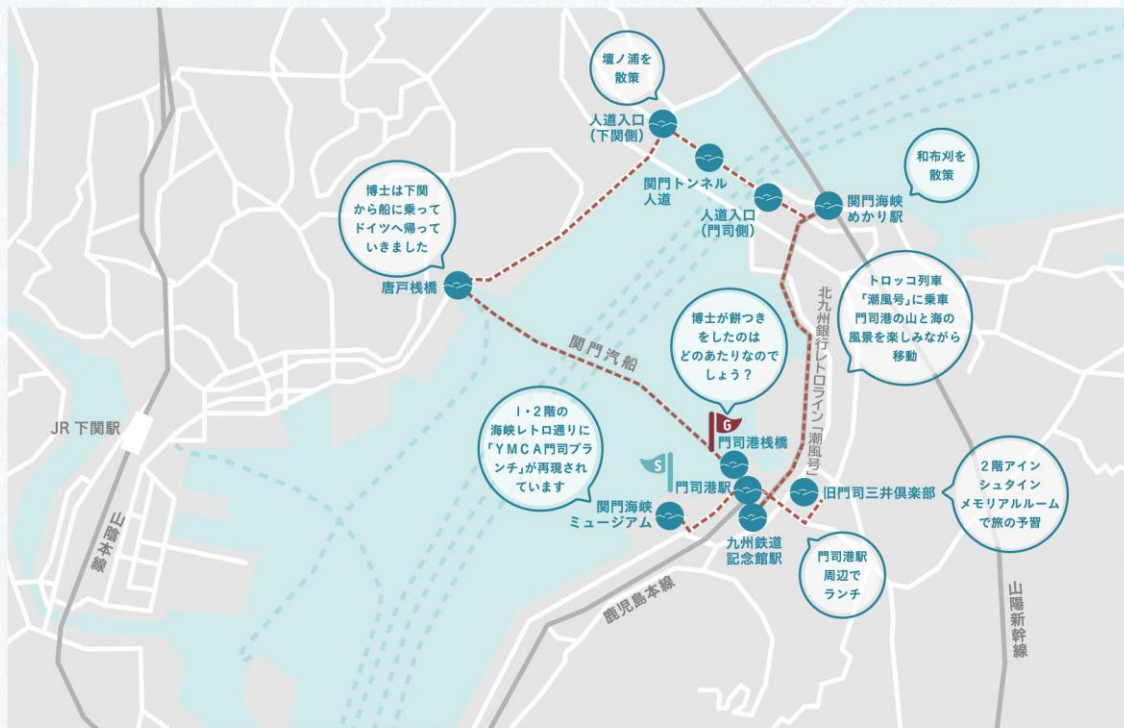
唐戸棧橋から関門汽船乗船



16:00

アインシュタイン博士の足跡を辿る旅

1922（大正11）年11月17日から12月29日までの43日間、講演のため日本を訪れたアインシュタイン博士は、最後の福岡講演を行う際に門司港の旧門司三井倶楽部に宿泊されました。クリスマスから年末にかけて5日間をこの地で過ごした博士は、クリスマス会や餅つきにも参加したそうです。日本滞在の最後の時間を過ごした博士は、門司港で何を想ったのでしょうか。彼の足跡を辿り、空想の旅へと出かけましょう。



アインシュタイン博士

門司港での日程 ——— 1922年

12月23日 門司港に到着。門司三井倶楽部に宿泊。

12月24日 福岡市大博劇場にて最終公演。同じく福岡市にあった「栄屋旅館」に宿泊。

12月25日 九州帝国大学訪問。門司に戻り、YMCA門司ランチ（門司基督教青年会館）でクリスマス会に出席。子供たちに「アヴェ・マリア」をヴァイオリンで演奏。

12月26日 門司の山と海の景色を楽しむ。

12月27日 和布刈や壇ノ浦などの関門海峡を観光。

12月28日 門司商工会議所の招待会に出席。

12月29日 棧橋に向かう途中で正月用の餅つき風景に遭遇し、さっそく参加。赤いハチマキを自ら締めて餅をつく。日本郵船「橋名丸」に乗船して帰路へ。

GOAL!

門司港棧橋



16:05

船 5分

関門国道人道トンネル

体験

生活

歴史

海底を歩いて県跨ぎ～海底トンネル

紹介

『関門トンネル』は山口県下関市と福岡県北九州市を繋ぐ、全長780mの海底トンネル。同名の鉄道用トンネルと区別するために『関門国道トンネル』と呼ばれることもあります。上下2層に分かれており、上部が車道、下部は歩道となっていて、人道トンネルは徒歩15分ほどで通り抜けることができます。

1939年5月に起工式。トンネルの掘削に適さない地質の問題や第二次世界大戦の勃発により中断するなど困難を極めたが、1958年3月9日に開通に至った。

人道入口にはエレベーターが設けられ、下関側は地下約55m、門司側は地下約60mまで降りて通行します。

現在は、観光スポットとしての一面と、地元の方の通勤や通学に利用する生活道路であり、天気の影響を受けず安全なのでウォーキングやランニングにも多くの方が利用されています。

海底を徒歩で渡るといいう珍しい体験ができます。トンネルの中ほどには山口県と福岡県の県境があり、線を跨げば「県跨ぎ」の面白い写真が撮れるスポットでもあります。



旅マエ～事前学習

- 関門国道トンネルができてどう変わったか？
- 関門国道人道トンネルの役割は？

旅ナカ～現地にて

- ◇ 人道トンネルを歩いて県境を跨ごう！
- ◇ 関門プラザ（ミニ資料館）の見学と説明

旅アト～事後学習

- 本州と九州を結ぶ、新しい手段を考えよう！



連絡先	西日本高速道路北九州高速道路事務所
住所	〒751-0813 山口県下関市みもすそ川町22
電話番号	TEL：093-618-3141
営業時間	06:00～22:00
定員	---
説明内容	

関門 “ノスタルジック” 海峡ウォーク

日本遺産に触れながら、海峡を歩こう！

紹介

関門地域を空から見下ろすと、本州と九州とが互いに手を伸ばし、今にも陸続きになりそうな地形が目に入ります。海峡を挟んだ両岸からは、山々が海にせり出すように対峙し、そこからは大型のタンカーや旅客船が途切れることなく往来する海峡景観とレトロな近代建築が建ち並ぶ街並みを望むことができます。関門海峡沿岸は、明治から昭和初期にかけて共に急速な発展を遂げ、当時最先端の意匠と技術で建てられた近代建築が現代の街並みの中で大切に残されています。密接な交通網で結びつけた海峡兩岸の港町は、渡船や海底トンネルを使って気軽に巡ることができます

課題

- 認知度の低さ
- 維持管理



旅マエ～事前学習

- 関門（北九州市門司、下関市）は、何故発展したのか？
- “海峡七路”とは？



旅ナカ～現地にて

- ◇ 関門港ゆかりの歴史的な地、施設を歩いて巡りましょう！
- 日本遺産の現状を見ましょう



旅アト～事後学習

- 日本遺産の認知度を上げるためには？
- 日本遺産をどう活用すればいいか？



連絡先	関門海峡日本遺産協議会事務局
担当	北九州市市民スポーツ局文化部文化企画課
電話番号	093-582-2391
担当	下関市教育委員会教育部文化財保護課
電話番号	083-254-4697

関門海峡クルーズ

体験

自然

歴史

海上から関門の歴史と今を見る

紹介

源平合戦、巖流島の決闘、下関戦争（四国艦隊下関砲撃事件）、第二次長州征伐など歴史上において舞台となった関門海峡。現在においては、関門橋、太刀浦コンテナターミナル、赤間神宮、唐戸市場、海響館、海峡ゆめタワー、下関港フェリーターミナル、三菱重工業下関造船所、巖流島、海峡ミュージアム、門司港レトロを船上から見ることができ、歴史と現在を感じることができます。

1日に4回潮の流れが変わる関門海峡は、日本三大潮流と言われ、時間が合えば潮流を船上で体験することができます。

また国際航路なので、大きなタンカーや貨物船に出会えるかもしれません。



旅マエ～事前学習

- 関門海峡が歴史上舞台になったのは？
- 関門海峡での船の航行のルールは？



旅ナカ～現地にて

- ◇ 関門海峡を海から観察しよう！
- ◇ 潮流信号を確認しよう！



旅アト～事後学習

- 観光地として、関門海峡をもっと知ってもらうには？



連絡先	関門汽船株式会社
住所	〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-4-1
電話番号	TEL : 093-321-1877 FAX:093-321-1878
営業時間	09:00～
定員	乗船定員120名

門司電話通信レトロ館

体験

生活

歴史

通信の歴史にタイムスリップ

紹介

1924（大正13）年に「逓信省門司郵便局電話課庁舎」として建てられた当館の館内には、電信・電話の発展の中で活躍してきた古い設備や過去を語る貴重な史料などを展示しています。日常身近な「通信」をテーマに歴史的・技術的な観点から、楽しみながらご覧いただくことができます。

建設当時の面影を残す開放的なスペースには、懐かしの電話機や公衆電話、携帯電話までの歴史が体感できる展示コーナーや、実際にモールス信号の他、電話交換手の仕事体験や自動交換機のつながらる仕組みが間近でご覧いただけるコーナーがあります。

体験・展示



電話交換手の体験

磁石式手動交換機で実際に電話機のハンドルを回して電気を起こし、交換手や通話相手との会話をお楽しみいただけます。



モールス信号（トン・ツー）の体験

米国のペリー提督が徳川幕府に電信機を献上。本物の電鍵で画面を見ながら、「トン」「ツー」（モールス信号）を打つことができます。



公衆電話などの利用体験

災害時や緊急時にも役立つ公衆電話のほか、「災害用伝言ダイヤル（171）」の使い方が学べるコーナーです。



ダイヤル式電話機の通話体験

昔懐かしいダイヤル式電話機の数々。実際にダイヤルを回して電話をかける体験ができます。



日本で唯一、動態保存されているクロスバ交換機。全盛期の活躍ぶりが体感できます。

旅マエ～事前学習

- 通信手段、電話はどう変わった？
- 何故、電話で話ができるの？

旅ナカ～現地にて

- ◇ 展示品で電話の歴史を学ぼう！
- ◇ モールス信号体験や公衆電話利用体験を通して、技術の発展を考えよう！

旅アト～事後学習

- 災害時や緊急時の連絡方法は？また情報共有は？



連絡先	門司電気通信レトロ館
住所	〒801-0856 福岡県北九州市門司区浜町4番1号
電話番号	TEL：093-321-1199 FAX：093-321-1199
営業時間	09:00～17:00
定員	最大100名
休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

海峡都市関門DMO

観光で地域を～繋ぐ！賑わう！潤う！

紹介

DMO (Destination Management/Marketing Organization) とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

山口県下関市と福岡県北九州市は、関門海峡という共通の財産を持ち、経済活動・行政間・市民の生活圏としても密接なつながりがあります。しかし、課題として観光消費の伸び悩み、次世代観光地域づくりの人材不足があげられます。

SDGsへの取組

◎にぎわい創出：高齢化と人口減少が著しい関門地域（北九州市門司区・下関市）において、観光を軸ににぎわいを取り戻す

◎キャリア夢授業：小学校や中学校において、職業人から仕事の紹介を対話形式で行い、子どもたちの夢を育むとともに、地域愛を目ざめさせる活動

◎環境維持活動：海浜清掃

◎広域連携：北九州市と下関市、福岡県と山口県、九州と中国と関門海峡を挟み、行政や商圏の違うこの地域を、官・民・学が連携できる仕組みづくり



旅マエ～事前学習

- 関門エリアの観光資源は？
- 関門地域における観光の課題は？



旅ナカ～現地にて

◇観光の代表地である「門司港レトロ」にて謎解きをしながら街の魅力・課題を発見し、SDGsに基づく観光街づくりの取組など講義形式で学びます。

- 現地で気づいたこと！



旅アト～事後学習

- 関門地域をもっと賑わせるにはどうすればいいか、考えてみよう。
- 自分の住んでいる地域を活気あるまちにするには？



連絡先	一般社団法人 海峡都市関門DMO
住所	〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-3 大手町アイビースクエア4F
電話番号	093-981-3842 FAX: 093-592-7041
定休日	土日祝日と年末年始
定員	内容により要相談
説明内容	門司港レトロ「海峡プラザ」にて概要説明

関門ジビエ

ジビエ消費で獣害被害の対策と関係人口の創出

課題

下関市の北東エリアには自然が広がる一方で、『獣害』による農作物の被害を受けています。しかしながら、田畑を守るための狩猟も、猟師の高齢化や猟で獲たシカやイノシシの捌き場が少ないこと。そして何よりジビエを食べる人がまだまだ少ないという現状が大きな課題となっています。

一方、シカやイノシシは害獣とは言え、命ある生き物です。命をいただくことも深く考えていただきたいと思います。

活動内容

◎ジビエを軸にした自然体験ツアーの造成：農村体験や田舎体験、猟師の方のお話やジビエ料理

◎ジビエを知っていただくための活動：ジビエイベントの開催、グルメフェスティバルなどへの参加、新聞社と連携したSDGsセミナーの実施

◎狩猟免許取得までの支援

◎猟友会の方や農村の方との交流の場の設定：地域交流、宿泊や交流を目的とした場作りの古民家改修

◎継続的な交流：狩猟免許取得により定期的な狩猟の誘い、LINEなどのツールを使用した交流の場作り



旅マエ～事前学習

- 害獣による農作物への被害（内容・規模）？
- ジビエ料理とは？



旅ナカ～現地にて

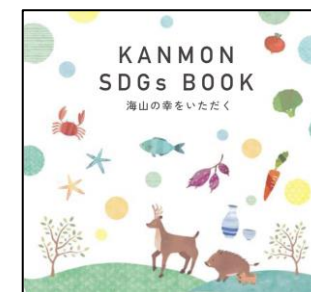
◇対象エリアに行き、獣害における農作物の被害や狩猟についての話を聞きます。

◇ジビエ料理を食べてみましょう！



旅アト～事後学習

- 私たちにできること？
- 命をいただくことを考えよう！



連絡先	一般社団法人 海峡都市関門DMO
住所	〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-3 大手町アイビースクエア4F
電話番号	093-981-3842 FAX：093-592-7041
定休日	土日祝日と年末年始
定員	内容により要相談
説明内容	門司港レトロ「海峡プラザ」にて概要説明

関門海峡ミュージアム

体験

歴史

関門海峡をまるごと楽しむ体験型博物館

紹介

ガラス張りの帆船のような姿をした建物、関門海峡ミュージアムはSFの宇宙船のように空へ飛び出しそうな門司港の未来の象徴です。5階展望デッキからは、本州と九州、日本海と瀬戸内海の出会う地理と自然が、海陸交通の要衝として歴史を刻んできた『関門海峡』を一望することができます。関門海峡の歴史は、門司港のみならず日本や東アジアの多様で複雑な文化を昔から今まで育み続けています。4階まで吹き抜けの内部を緩やかな螺旋状に下りながら、関門海峡の自然・歴史・文化を最新の技術で楽しみながら学ぶことができます。

関門海峡ミュージアム山側のアール・デコ調の建築は『レトロボックス』と呼ばれ、明治から大正・昭和の頃、国際貿易港として栄えた当時の門司港にタイムスリップしたかのような街並みと活気をその箱の中に再現しています。1階・2階部分の『海峡レトロ通り』にはかわいい路面電車が停まり、再現された建築を通り抜けるとバナナの叩き売りの調子が聞こえてきます。天井の青空の色が変化して夕闇、夜空の深い陰影に街が臨場感たっぷりに包まれると、当時の人々の暮らしや気持ちを想像することができます。

施設

◆海峡アトリウム（2階～4階吹き抜け）
ミュージアムに常設されているものでは、日本最大級のスクリーン（縦9m×横18m）で関門海峡の自然や歴史の海峡ドラマを大迫力映像で体験

◆海峡体験ゾーン
「操船シミュレーション」や「コンテナクレーンゲーム」など、関門海峡を学べる体験

旅マエ～事前学習

➤ 関門海峡の地理、歴史、そして今。



旅ナカ～現地にて

- ◇ 関門海峡を行き交う船の観察
- ◇ 操船シミュレーションでの体験



旅アト～事後学習

➤ 関門海峡ミュージアムの魅力は？



連絡先	関門海峡ミュージアム
住所	〒福岡県北九州市門司区西海岸1-3-3
電話番号	TEL：093-331-6700
営業時間	09:00～17:00 ※年4回不定休
定員	---
説明内容	

九州鉄道路線の出発点～鉄道のワンダーランド

紹介

門司港レトロ地区にある鉄道の歴史を楽しみながら学べる記念館。明治時代建築の赤煉瓦づくりの本館には当時の客車の展示や811系近郊型電車の運転台で実際の路線風景での運転を疑似体験できる運転シミュレーターがあります。

1891年（明治24年）に旧・九州鉄道会社の本社として建てられた「本館」は、以降、鉄道院、鉄道省、日本国有鉄道、九州旅客鉄道などへ所有は移りましたが、一貫して九州の鉄道の中核機能を果たしてきた建物です。現在、近代化産業遺産、国登録有形文化財、日本遺産に登録されています。

他には屋外に車両展示場、ミニ鉄道公園を併設しています。

学習の視点

1. 見て触れて体験する

かつて九州で活躍した車両を間近に見て、触れて、乗車できるほか、電車運転の疑似体験など、楽しみながら体験型学習ができます。

2. 九州の歴史

九州の鉄道の歴史は、九州の都市や産業の発展などに密接に関わっており、その歴史・地勢を鉄道と関連付けながら学ぶことができます。

3. 最新の九州の鉄道情報発信

時代の流れに伴い、九州の鉄道も大きく変化しています。時代とともに去りゆく車両から、新しく登場する最新情報までを、写真を中心に知ることができます。



旅マエ～事前学習

- ▶ 九州（全国）の鉄道の歴史



旅ナカ～現地にて

- ◇ワークシートを利用した学習プログラム（小・中学生）
- ◇運転シミュレーターなどでの体験、館内見学



旅アト～事後学習

- ▶ 現在の鉄道との比較（例：車両、安全、切符など）
- ▶ 鉄道をSDGs視点で見る



連絡先	九州鉄道記念館
住所	〒801-0833 福岡県北九州市門司区清滝2-3-29
電話番号	TEL：093-322-1006
営業時間	09:00～17:00
休み	不定休（9日間/年）
説明内容	

門司港駅

国の重要文化財

紹介

1914年(大正3年)に門司駅(当時)として開業、1942年(昭和17年)に門司港駅と改称され、1988年(昭和63年)には鉄道駅舎として初めて国の重要文化財に指定されました。2019年(平成31年)には6年にも及ぶ復元工事を終え、大正時代の姿に復元された門司港駅がグランドオープンしました。

現役の駅舎としては、門司港駅と東京駅の2駅のみが国の重要文化財に指定されています。

木造二階建ての駅舎はネオルネサンス様式といい、左右対称の造りが特徴的で「門」を表現しているとも言われています。今も現役で活躍する駅舎構内には九州鉄道の起点を表す「0哩(ゼロマイル)標」、門司港に帰り着いた引揚者や復員兵が安堵の思いで喉を潤した「帰り水」、戦時中の金属供出から逃れた「幸運の手水鉢」等、歴史のエピソードに飾られた見所が満載です。また駅舎の横には、関門連絡船就航当時に駅から棧橋までの約100mを結んでいた「関門連絡船通路跡」が残されています。



旅マエ～事前学習

- 門司港駅の歴史や役割

旅ナカ～現地にて

- ◇ 駅舎構内の見学、他の駅にない特徴は？
- ◇ 多言語対応の調査など

旅アト～事後学習

- 門司港駅周辺と観光で連携できることは？

門司港駅POINT

ホームにベンチなどが一切無し！

門司港駅のホーム部分には、ベンチなどがありません。一直線に抜けたホームと「もじこう」の駅名表示が人気のフォトスポット。細かに見ると、柱や屋根の内側は木製で、屋根を支える梁には線路のレール材が使われています。

専用の制服と肉声アナウンス

駅員のレトロな制服は門司港駅だけで使われているオリジナル品。三本線の帽子が駅長です。また、アナウンス(日本語)はすべて肉声。他の駅でお馴染みの自動(機械)音声は使われていません。

昔は関門連絡船まで地下道で…

関門鉄道トンネルの開通に伴い昭和39年に廃止となった「関門(鉄道)連絡船」。稼働中は、駅から渡船場まで「連絡通路(地下道)」で繋がっていました。今も海側にその通路跡が残されています。

連絡先	JR九州 門司港駅
住所	〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-5-31
電話番号	TEL: 093-321-8843
営業時間	08:00~21:00 窓口業務 ※休みなし

出光美術館 門司

出光興産創業の地、人間尊重の精神を学ぶ

紹介

公益財団法人出光佐三記念美術館は、出光興産創業の地、門司において、人間尊重の精神に基づき、美術工芸品及びその関係資料の収集・保管及び一般公開を行うとともに、創業者出光佐三の事跡を中心とした史料を一般公開し、もって地域文化の発展向上に寄与することを目的としています。

出光美術館内に、出光佐三の生涯の軌跡を紹介する「出光創業史料室」を併設しています。

出光興産の創業者 出光佐三（1885-1981）は明治44年（1911）当地門司、現在の鎮西橋交差点近くに機械油の販売店「出光商会」を開店しました。創業当初は従業員数名の小さな店で、彼らからは親しみをこめて「店主」と呼ばれていました。今も出光の従業員や販売店の皆様からは「店主」と呼ばれています。

店主の生きた時代は日清、日露戦争に始まり、二度の世界大戦、戦後復興、経済大国への道とまさに激動の時代でしたが、店主は一貫して「人間尊重」という理念をかがげ、事業経営に取り組んできました。

出光創業史料室では「出光佐三の足跡—「人間尊重」の実践」として、7つのコーナーを設け、店主の足跡を紹介しています。



旅マエ～事前学習

- 出光佐三について調べる



旅ナカ～現地にて

- ◇多目的ホールで、美術館職員より出光佐三についての案内
- ◇出光創業史料質の見学



旅アト～事後学習

- 地元の偉人について調べてみよう



連絡先	出光美術館
住所	〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3
電話番号	TEL：093-332-0251
営業時間	10:00～17:00
休館日	毎週月曜日
説明内容	



一般社団法人

海峡都市関門DMO